**魚津市の財政を考える市民会議　会議録**

○日　時

　平成30年10月29日（月）19時00分～20時45分

○場　所

　魚津市役所　２階　第１会議室

○配布資料

　資料①～⑤　魚津市の財政見通しと財政体質改善ほか

○委　員

|  |  |
| --- | --- |
| 魚津商工会議所 | 石川　勝康 |
| 北陸税理士会魚津支部 | 濱多　善克 |
| 西田哲也りんご園 | 西田　哲也 |
| 米工房Jasmine | 小林　由紀子 |
| 公益社団法人新川青年会議所 | 若林　健嗣 |
| 魚津市男女共同参画地域推進員連絡会　元会長 | 木下　理佳 |
| 魚津市自治振興会連合会 | 伊藤　甚宰 |
| 社会福祉法人海望福祉会　 | 大﨑　雅子 |
| 魚津市ＰＴＡ連合会 | 浅野　朱実 |
| 魚津市副市長 | 四十万　隆一（座長） |
| 魚津市企画総務部長 | 川岸　勇一 |
| 魚津市財政課長 | 池村　知明 |
| 魚津市総務課長 | 広田　雅樹 |

　市民　９名（うち４名は所用につき欠席）

　職員　４名

○会議内容

１　資料説明

　　各委員へ資料を説明。

２　意見交換

委員　歳入が大きく増えないとのことなので、このような歳出を抑える取組は必要だと思う。税収の滞納を何とかしないといけない収納率を上げる努力をとのことだが、現在滞納額はどのくらいあるのか？

　⇒　おおよそ５億円ある。努力はしているが厳しい。９月の補正予算で計上させていただいたが、不動産等の差し押さえた財産をインターネットの公売により売却し、そのお金を滞納額に充当する取組を始めている。厳しいが少しでも滞納を減らそうと努力している。できるだけ現年分の収納率を上げて滞納にならないようにしたい。

委員　収納率をどんどん上げていければいいと思う。

　⇒　税務課では職員が協力しながら、目標を立ててがんばっている。

委員　歳入歳出の見通しをみると大変な状況だなと感じる。地道に頑張るしかないのかなと思う。世の中、景気がいいと言うが、国税は伸びているが地方は厳しい。税収を増やすには固定資産税を増やす取組が必要だ。

　⇒　地価が上がればいいのだが厳しい。また、企業の投資が活発になることで、償却資産が増えることが望ましいため、今までも市で色々な取組をやってきたが、その反面、取組みに係る支出が増えている。しかし、雇用が増える等の別の効果もある。

委員　県西部の水道料金が東部より高いのは、何か理由があるのか？

　⇒　県西部は、東部と比べて水源が少なく水が不足気味。ダムから水を買っているため、割高となっている。

委員　水道事業における事業外収入の創出とは具体的にどんな事を検討しているのか？

　⇒　モンドセレクション金賞を受賞した「うおづのうまい水」の売り込みや小水力発電など検討中である。今後、施設の耐震化や修繕費用が必要となるので、色々なアイデアを出して収入を増やす努力が必要である。

委員　財政が厳しいことで、ずっと10％カットを継続するのか？

　⇒　平成19年度～平成20年度のピーク時から徐々に税収は落ちてきているが、歳出は膨れたままである。事務事業の中には目的や対象が被っている事業があるので、一度、事業を全部整理して統合したり、事業を廃止して新しい事業を創設したりと色々な手段も考えたい。全ての事業を一律で10％カットするわけではない。市民ニーズや削減が可能なのかも確認しながら進めていきたい。例えば、公共施設については、昔と今の人口規模に対して施設数が適正なのか？利用状況は過去からどう変化してきているのか？利用状況に見合う料金なのか？一旦整理して、適正なものに変えていきたい。

委員　財政が厳しいならば、何らか収入を確保する努力をしなければならない。公民館を色々活用したいとのニーズは多いが、現状では有償で貸すことができない。指定管理制度が可能ならば、知恵を絞って少しでも財源を確保する方法があるのではないか？自治振興会でも検討していかなければならないと思っている。

⇒　工夫しながらやっていかなければならない。削減ばかりでは、市民サービスが低下してしまう。

委員　現在、どのような事業を直す予定なのか？事業名の公表は難しいか？

⇒　今、事業担当課で見直し中である。例えば個人に対しての給付事業などは、2つの事業を1つにしたり、制度の良い所を残したりと調整している。

委員　移住・定住促進のための転入助成金事業等は、確かに対象や目的が被っていると思うが、非常に良い制度であると思っているし、評判も良い。定住に繋がれば、固定資産税の増収にもなる。見直しの対象にならなければいいと思う。

　⇒　人口減少の抑制や定住に結びつくなどの事業効果は、しっかり検証したいと考えている。平成31年度予算編成に向けて、財政課の目線での事業の仕分けは、緊急度や事業効果を判断基準にして優先順位をつけたいと考えている。

委員　３年ぐらいのスパンで、事業の効果をみてほしい。税収が増える等の効果があるならば、事業を継続してもらいたい。

　⇒　この一年で、５０人程度ではあるが、転入が転出を上回った。事業の効果が出ているのかしっかり検証したい。ただ、市の人口全体は減っている。出生に対して死亡が多く、そこまでカバーできていない。しかし、2060年には人口30,000人を目標にがんばりたい。

委員　ありそドームそばで新しい温水プールを作る方向で進んでいるのか？

　⇒　総合体育館については、廃止は決定している。温水プールに関しては、施設継続の要望が多い。現温水プールを廃止する時に、体育館と一緒に取り壊したい。総合体育館の廃止後については、現在、小学校の統廃合も進んでおり、廃校となった学校の体育館を活用しながら、カバーしていきたい。

委員　夏しか使用できない小学校のプールを廃止して、市が新しく作る温水プールに統合してはどうか？

　⇒　議会からも同じような意見が出ている。現在、中学校は、学校のプールを廃止して、温水プールを利用している。小学校はまだそこまで至っていない。しかし、スイミング専門のインストラクターから水泳を学ぶことができる環境は良いと思う。また、プールへの移動手段の問題は出てくると思うが、短期間のプール利用を考えるとランニングコスト的にもプールを集約することは望ましいので、将来的に検討の余地はある。

⇒　統合小学校の建設を進めることで、将来の施設の建替えや修繕の経費負担は減っている。保育園も廃園や民営化を進めており、施設管理費だけでなく人件費の負担も減っていく。

委員　平成30年度の主要事業で公園活性化の事業があるが、魚津市の公園は、旧市街地に集中しており、あまり利用されてないようである。イベントに貸し出す等の新しい活用方法も考えてはどうか？

　⇒　平成30年度は、国の補助金を活用して計画を作っている段階である。長寿命化はもちろん地域によって用途の違い等、特色のある公園を目指している。

委員　例えば、若い世代の多く住む郊外に公園が必要なのではないか？旧市街地にある公園の使い方を見直しては？

　⇒　確かに郊外に宅地開発が進み、子育て世代の多く住む地域に、遊べる大きな公園はあまりない。計画策定の中で検討していきたい。

委員　雑務的な仕事を職員が行うより、委託に出すなり、IT化を進めてはどうか？

　⇒　給与の支払いや窓口事務を民間に委託する自治体もある。人口が減少すれば、職員も減らいていかなければならないが、行政サービスのレベルを落とさないようにしなければならない。魚津市は人口規模に対して職員は多くはない。滑川市はもっと少ないが、その差は保育園の数の違いによる保育士の配置の差である。

委員　南砺市は職員数が多いようだが？

　⇒　市町村合併した市は、どうしても職員が多くなる。

委員　水道については、資料を見る限りこのままではまずいと思える。

委員　家計において、水道代の占める割合が大きいので高いと感じていたが、県内の他の市と比べると安いことがわかったので、そこを丁寧に市民に伝えたらいいと思う。

　⇒　伝えていきたい。

委員　水道料金の弾力的な価格設定を考えているか？

　⇒　電気にも色々な形態があるように、水道も考えていく必要があるが、なかなか難しい。

委員　市民一人一人が協力できることを、広報やケーブルテレビでお知らせしたらどうか？

　⇒　隣近所の除雪等の協力をいただければ非常に助かる。協力者を求む等をホームページや広報で募集することも取り組んでいきたい。地域振興会の活動とも連携していただければありがたい。

⇒　この市民会議は、魚津市のことを知っていただき、地域や周りに伝えていただくことを目的にしている。例えば定住応援室では、人口を増やそうと様々な移住・定住情報を発信しているが、それをさらに周りにPRしていただくことで、活動が盛り上がるのでぜひ協力をお願いしたい。